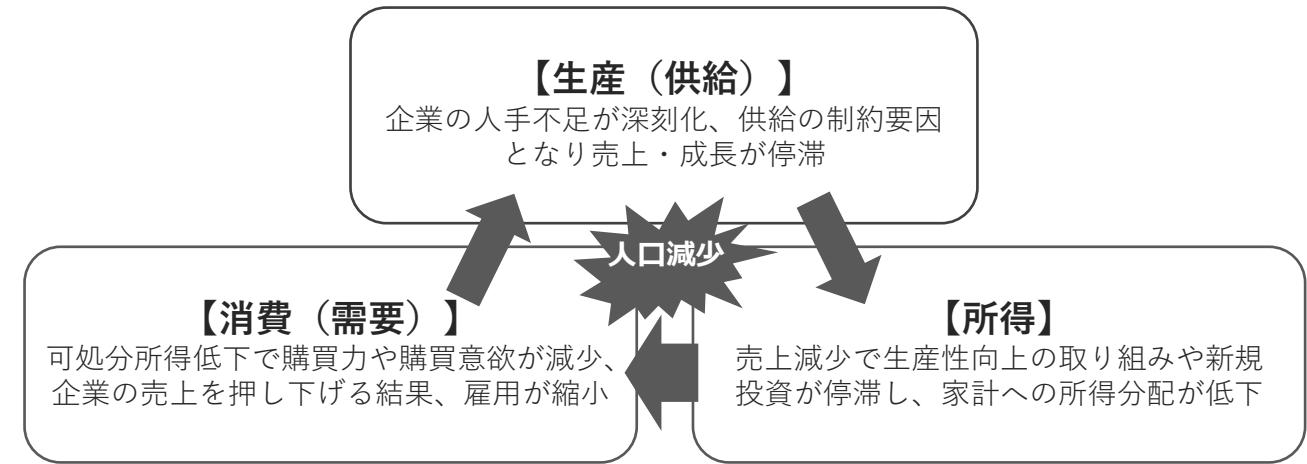


意見交換テーマ「市内事業者の成長志向をさらに高めるには？」

意見交換テーマ設定の背景

○将来的な人口減少に伴う悪循環の懸念

- ・ 少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少、本市への主な流入元である東北地方の人口減少や新卒者の東京圏への流出拡大により人手不足の深刻化が懸念。
- ・ 人口減少は人手不足のみならず、市内総生産の8割以上を占めるサービス業の市場縮小に繋がり、悪循環に繋がる恐れ。



○成長志向を高める必要性

- ・ 持続的な経済成長を実現するためには、企業の成長志向の向上をトリガーにして、新たな挑戦→売上拡大と雇用の質的向上に繋げ、さらには地域経済の魅力向上や人材・投資の呼び込みに繋げる好循環を創出する必要がある。
- ・ 一方、市内事業者に成長志向や事業拡大について調査したところ、「事業拡大なし」が「事業拡大あり」を上回るなど、成長志向が高いとは言い難い現状であり、その要因や成長に関する施策立案を検討する際の着眼点について議論させていただきたい。

関連する市施策のご紹介（資料5の再掲）

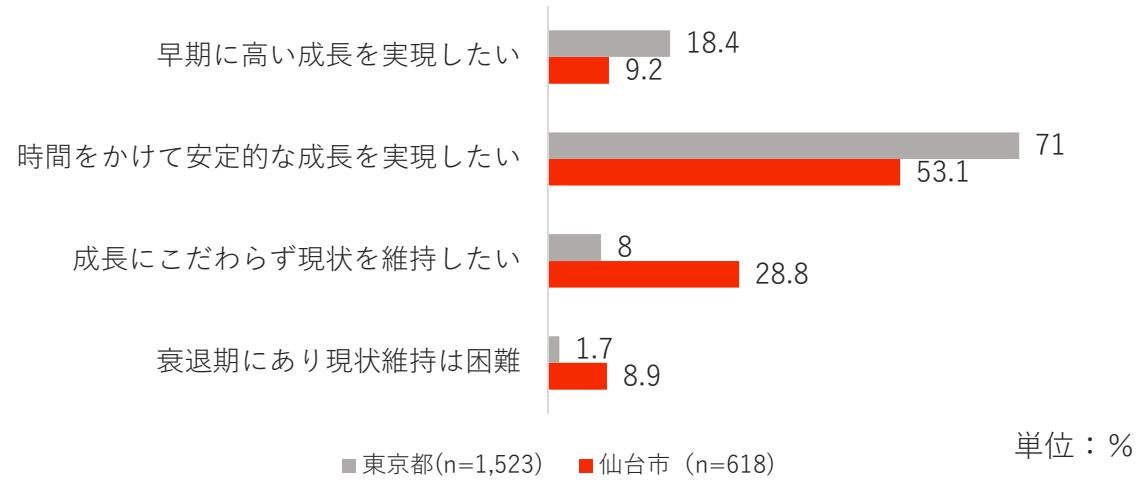
- ・ 地域中核企業輩出支援パッケージ：地域への経済的・社会的インパクトをもたらす企業への重層的支援
- ・ ダイバーシティ経営：「ちがい」を活かした経営を促進することで、成長と人材確保（働きやすさ向上）の両立を支援
- ・ その他（稼げる都市農業、ライフステージの転機を捉えたUIターン促進など）

本市仮説

- 要因1：域内市場規模の縮小が限定的 ⇒ 過去10年は人口が微増であり、将来的な市場縮小が意識されづらいのではないか。
- 要因2：経営者の高齢化が進行 ⇒ 新事業や投資拡大のモチベーションが高まりづらいのではないか。
- 要因3：支店経済の副作用 ⇒ 地域を代表する企業や成長のモデルケースが少ないのではないか。

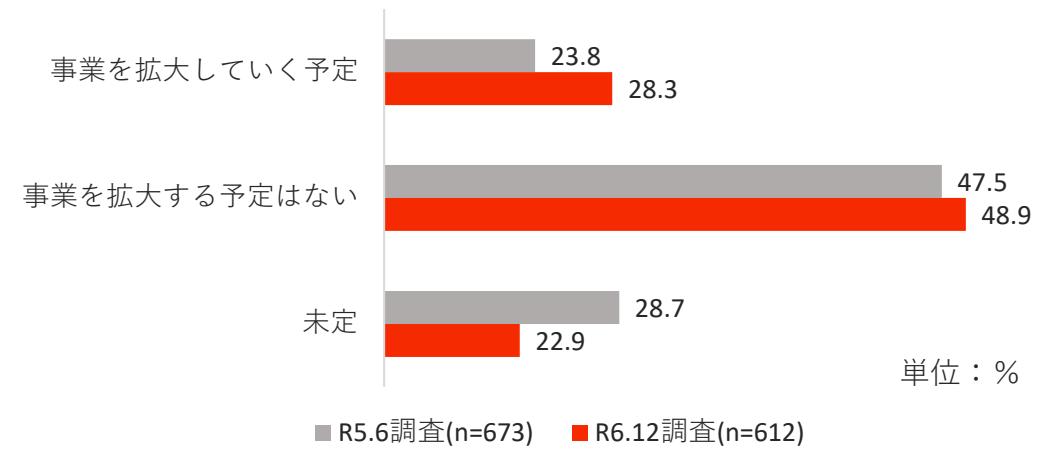
市内事業者の成長志向に関する現状

将来に向けた成長意向 仙台市と東京都の比較*

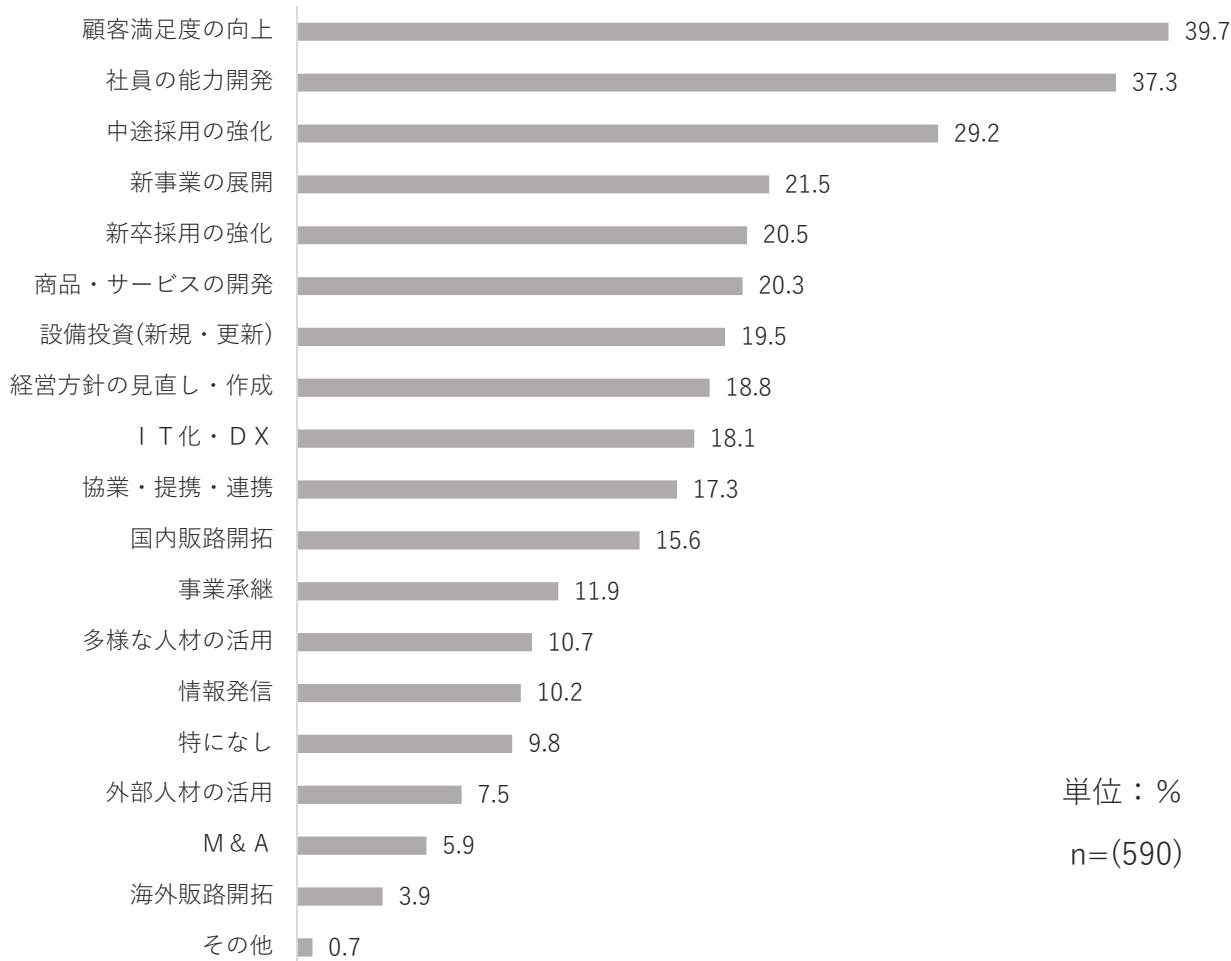


※仙台市は、「市企業経営動向調査（R6実施）」における「今後5年間の成長意向」を尋ねた結果。東京都は、東京商工会議所が「2030年代に向けた企業と東京の成長に関する調査（R4実施）」において、「2030年代に向けた成長意向」を尋ねた結果。<https://www.tokyo-cci.or.jp/page.jsp?id=1029178>

今後5年間の事業拡大予定 R5とR6の比較



今後5年間で新たに実施・強化したい取り組み R6.12調査



事業を拡大しない・できない理由

（「事業拡大予定が無い」と回答した事業者への設問）

